



## 学校法人片柳学園 2022年度テレビCM 「日本工学院 『私の夢』」篇を制作

株式会社コスモ・スペース（東京都千代田区、代表取締役社長：市川精也）は、学校法人片柳学園（東京都大田区、理事長：千葉茂）テレビCM「日本工学院 『私の夢』」篇の制作、および撮影を担当いたしました。

本CMは6月1日（水）より、北海道・東北・甲信越・東海・九州・沖縄の民放各局や、Web CMとしてOA、配信されています。



日本工学院 CM紹介ページ：<https://www.neec.ac.jp/cm/>

当社では長年にわたり、日本工学院 テレビCMの制作および撮影を担当しています。今回も、企画制作・撮影・仕上げまで、各工程で当社のクリエイティブ力、技術力を発揮して、ワンストップでお客様のニーズにお応えしました。

### 企画制作 —新たな路線の企画提案—

これまでの日本工学院のCMは、ドローンや特殊機材を用いて、広大なキャンパスや充実した施設をダイナミックに見せるものが主でしたが、今年度は日本工学院が掲げる「若きつくりびと®」\*という独自のキーワードを軸に、新たな路線の企画提案と制作を行いました。

今回の企画では、一人の高校生が主人公となり、蒲田キャンパスの校舎を前に決意する彼女が、アニメ、ミュージック、スポーツ分野での実習で自分の夢に突き進んでいく、ナラティブな構成としています。

\*若きつくりびと®・・・「理想的教育は理想的環境にあり」の理念に基づき、「若者の持つ夢を、技術という生きる力に育み、豊かな未来の創造に寄与する」ことをミッションとする日本工学院ならではの本格的な学習環境で、自由にモノ、コト、場、喜びなどを作る（創る）日本工学院の学生のこと。

日本工学院ではすべての学科で「つくる」ことを教育の柱に据え、新しいモノやコトなどをつくり出せる人材「若きつくりびと®」育成のため、75年の歴史が培ってきた人材育成のノウハウを生かし、理想の教育環境を実現するためのさまざまな取り組みを行なっている。



若きつくりびと®

## 制作背景 —新たなスタートを期待して—

一人の高校生が夢を追いかけ前進する、といった新たな路線のCM制作に至ったことには、長く続いている世の中の閉塞感からの脱却、新たなスタートを期待し、人々に希望や感動を届けたいという想いもありました。

日本工学院は現在、6カレッジ 34学科 103専門分野という豊富で多彩な学びの場を設置しています。今回のCMは、アニメ、ミュージック、スポーツの3分野をメインシーンに組み込んだ構成としています。

それぞれのシーンでは、主演モデルに加え、彼女とともに実習に励む学生エキストラとして、実際にその学科で日々学んでいる学生や、声優・演劇科に所属する俳優志望の学生が出演。主演モデルは、そんな学生たちの中で、「つくるのが楽しくて仕方がない」本物の学生のような等身大の姿を演じています。

## Director's Note —つくることの感動を知るキャンパス—

「若きつくりびと®」という独自の言葉に表れているように、日本工学院では「つくる」ということを非常に大切にしておられます。

これまで本件以外でも、何度もキャンパスを訪れているのですが、この充実した学習環境の中で、つくることではか得られない感動に触れてしまった、多くの学生たちの姿を目撃してきました。

このキャンパスで学生たちは、つくることの感動を初めて知る。自分のつくるものに感動し、またそれが、どこかの誰かに届くということに、感動する。やがて自分の夢の可能性について静かに考え始める。

こんな、かけがえのない絶対的な時間が、「このキャンパスにはあるに違いない」。

そういった期待を、本CMを見た高校生やご家族へ、登場人物の表情や視線、声を通して届けられることを願って、制作させていただきました。

(文 監督：荒井 陸)

## コスモ・スペース スタッフ

プロデューサー	： 吉澤 光司	撮影コーディネーター	： 吉田 貴彦
監督	： 荒井 陸	撮影	： 山口 美之
制作進行	： 山田 智久	撮影助手チーフ	： 菊池 崇司
助監督	： 八久保 貴嗣	データマネージャー	： 柳 慎二
制作担当	： 磯貝 優太	撮影助手	： 南海斗
	香川 健太		星野 拓夢
CG	： 仙場 美月		